

立共 戸塚第1病院「地域のより良い相談相手に」 整形外科・保刈副院長に聞く

戸塚駅に近く、区民だけでなく周辺地区の住民も利用する「戸塚共立第1病院」。同院は、地域の方が安心できる医療の提供を目指し、様々な診療科を設置している。

そのひとつが、運動器官の病気やけがを取り扱う「整形外科」だ。膝や

腰など様々な関節疾患をはじめ、骨折などの外傷をカバーしている。同科担当の保刈成副院長に話を聞いた。

「できる限り元の状態に近づけられるように、まずはリハビリテーションを基本として診療して

います」と保刈副院長。それでも改善が難しい場合は、年齢や状況を考慮しつつ、手術を含めた処置を提案している。

より患者の状態に適した処置を目指し、近年日本に導入された手術にも対応。特に、肩の腱板(※1)の断裂や、肩関節の軟骨がすり減ることで腕



保刈 成 副院長 専門：肩関節
日本専門医機構認定整形外科専門医
戸塚共立第1病院には約20年にわたり勤務しており、患者の中には3世代にわたって診療を受けたという人も。患者の希望になるべく治う診療を心掛ける。

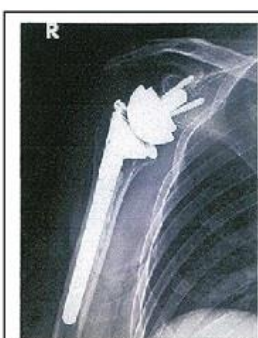
が上がらない人に対する「リバーズ型人工肩関節全置換術」(※2)は、一定の基準をクリアしないと実施できず、県内でも実施医院が少ない手術だという。保刈副院長は

「今後もリハビリや手術など様々な選択肢を提示できるような努めつつ、身体に不安のある地域の方々にとって、より良い相談相手となっていければ」と展望を話した。

■戸塚共立第1病院／住所：戸塚町116-50
45・864・2501

※1：肩関節を安定させる筋肉や腱など

※2：肩に人工関節を埋め込むことで腱板の断裂等を補う手術。主に70歳以上で肩関節痛があり、自力で肩を動かすことができない患者等を想定している。



リバーズ型肩人工関節